

=====

オンライン導入によるプログラム変更ポイント

=====

オンラインで実施する場合でも、予定しているプログラムの狙いと内容はほぼ維持ができる見通しですが、一部変更を行うポイントは以下の通りです。

●1日目「協働のファシリテーション：2つのフレームワーク」は事前にビデオを視聴していただく形式に変更いたします。（インプットの割合が大きいセッションのため、負荷を抑え、ディスカッションなどにより多くの時間を使うため）

●1～2日目「オープンスペース実践（1）（2）（3）」は、参加者の皆さんによってファシリテーションのデザインと実施をいただくプログラムです。選択する課題には、昨今の状況を受けて、ソーシャルディスタンスやオンラインを踏まえたテーマをふんだんに用意する予定です。

●物理的なスペースにおいて人の動きが生じるワークについては、現地にいるスタッフまたは参加者が動く様子をカメラ中継して、観察する「フィッシュボール（金魚鉢）」型の運用を取り入れます。実演後の振り返りには、現地とオンラインの共同で一緒に振り返りをを行います。

●3日目の手法の中で「回転木馬」の実演は難しいので、簡単な紹介にとどめ、実演手法は別に用意する予定です。

プログラム効果を最大限にするため、他にも若干の修正を行う場合がありますことをご了承ください。

現地会場は、ワンフロア 187 平米ある広いスペースとなります。十分距離をとり、適宜換気しながらの運営を予定しています。

以上